

【公 表】 事業所における自己評価結果

事業所名		児童ルームたちキッズ鳥栖南			公表日	令和 7 年 11 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	利用人数に応じ療育室の使い方を考慮し空間の調整を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	利用人数、職員数、子どもの状態を見て活動内容をお検討、調整をしている。	職員を増やしてほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	既存の建物であるため、パーティション等を使用しながら構造化し、子どもが分かりやすい空間を作るよう努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々子どもたちが過ごしやすいように衛生面には気を配りながら活動しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	個別の部屋を使用している。使用できない時はパーティションで個別の空間を作っている。	部屋数が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		スタッフ会議等で意見を出し合い、次につなげられるよう、話し合う機会がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者からの移行に対して、スタッフ間で共有、話し合い業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の職員間のやり取り、スタッフ会議にて共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部での研修受講にて資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有、集英を行いより良い支援計画作成に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		発達検査の結果や日々の行動観察保護者への聞き取りを行い、支援に繋げている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		大まかな内容は個人で考えるが、話し合いアドバイスをもらうようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援の計画を作成し、支援が行われているか。	8		一人一人の特性に応じて状況を見て判断している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		個別に対応してもらうスタッフには更に細かく指示をする。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		スタッフ会議で意見をもらい気付きや改善点を出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		スタッフ会議でそれぞれの子どもの様子を共有しどう成長につなげるか話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	園とも情報を共有しながら多方面から子どもの理解・支援に繋がっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6	検査結果を通して関わり方、促し方の適切な方法を学ばせていただいている。	接する機会がない。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	その子の課題・できたこと・配慮について共有し、家庭での様子など情報交換をしている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		事業所に研修案内を貼っているが、職員がもう少し積極的に保護者へ呼びかけを行った方が関心を持ってもらえると思う。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		面談の際に行っている。	バス送迎利用の保護者には案内を伝える手段がなく、コピーをして全世帯に配る等工夫すべきと思う。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		おたよりばすとや面談を通して相談に対応できるようにしている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	毎年親子レクを企画開催しています。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報は鍵のついた棚に保管している。また、個人名など書かれた書類を処分する際は必ずシュレッダーにかけている。	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
非常時の対応	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		保護者によっては嫌がられる場合もあるので十分に聞き取りをし、慎重に検討していく。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		玄関にてマニュアルはおいており、いつでも閲覧可能。職員間では訓練も実施している。防犯訓練・避難訓練はおたよりで知らせている。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		6月、10月に毎年行っている。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2		予防接種に関しては今後必要があれば確認をする
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	医師の指示書はないが食物アレルギー調査は年度初めに必ず行っている。おやつなどチェックは欠かさない。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		危険な事案はヒヤリハット書類に記載、回覧し全職員が情報を把握するようにしている。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修は義務づけられており、全職員が研修に参加している。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2		身体拘束が必要な子を預かっていない。